



## 熱き想いにふれて

保育士部会長 岡本 徳子 (浜田市 くもぎ保育園)



1年前、「県保協って何?」「保育士部会?」「全国保育士会?」すべてが『何?』も等しい状態の私。大役に潰れそうな中スタートした7月の中国大会。主催者の一人として準備委員となり開催地の先生方の裏方で大変さを目の当たりにし、多くの方の支えで開催に至る素晴らしさを感じました。又、県保協の組織をまとめ維持して行かれる会長の熱意、県保協の事務局の方々の行き届いた準備段取り、そして「現場の声を届けたい」と、全国保育士会の会長をはじめ各都道府県の委員の方々の熱き想いに頭が下がりました。

1年前、「県保協って何?」「保育士部会?」「全国保育士会?」すべてが『何?』も等しい状態の私。大役に潰れそうな中スタートした7月の中国大会。主催者の一人として準備委員となり開催地の先生方の裏方で大変さを目の当たりにし、多くの方の支えで開催に至る素晴らしさを感じました。又、県保協の組織をまとめ維持して行かれる会長の熱意、県保協の事務局の方々の行き届いた準備段取り、そして「現場の声を届けたい」と、全国保育士会の会長をはじめ各都道府県の委員の方々の熱き想いに頭が下がりました。

不安だらけで受けた大役でしたが、熱き想いをもらった多くの方々に出会い支えられてきました。それと同時に目の前にいる子どもたちがこのような熱き想いを持った大人へと成長してほしいと願い、個々の成長を支える保育士として熱き想いが更に湧いてきます。又そのような保育士が集う会として会員の皆様の支えを頂き残り1年を9名の部員の先生方と一緒に精一杯務めさせて頂きたいと思います。

保育士部会の活動としては、「保育者のつどい」の開催、年2回の「てつなぎ」の発行があります。情報提供などご協力の程、よろしくお願いたします。

## 調査編集委員会



【調査編集部員紹介】左から  
雲南/田原 麻子 出雲/森山 美和子  
松江/高橋 久子 江津/松嶋 寿枝

年2回の「てつなぎ」の編集発刊を担当している調査編集委員会のメンバー4名です。

原稿を仕上げるまでには、いろいろと

苦労もありますが、素敵な出会いや発見をもらえ、貴重な体験をさせてもらっています。「てつなぎ」を通して、保育士の皆さんの笑顔が浮かび、保育士の皆さんがパワーアップしていけるような内容をめざしてがんばります。

(調査編集委員会 委員長 高橋 久子)

## 総務研修委員会



【総務研修部員紹介】左から  
前列) 大田/石倉 和江 鹿足/蔵本 加奈子  
後列) 邑智/大澤 晃子 益田/花房 紀子  
安来/五丁 あつみ

私たち総務研修委員会は、「保育者のつどい」や「スキルアップ研修会」「保育所職員研修会」など県保協が主催する各種研修会への実施協力が主な仕事です。

普段は各地区の現場で頑張っている5名ですが、研修の時には会員の皆さんが参加しやすく、また有意義な時間を過ごして頂けるようにと、力を合わせて活動に取り組んでいます。

(総務研修委員会 委員長 石倉 和江)

# 保育者のつどいから

7月12日(土)江津市総合市民センターにて「保育者のつどい」を開催しました。

## 記念講演

**アクティブ・チャイルド・プログラム**  
—元気いっぱい遊ぶ子どもをめざして—  
岐阜聖徳学園大学 准教授 佐藤 善人氏



【講師紹介】 —プロフィール—  
 1972年 岐阜県生まれ  
 1995年 岐阜県小中学校教諭(～2001年)  
 2001年 東京学芸大学附属大泉小学校教諭(～2008年)  
 2002年 東京学芸大学非常勤講師(～2006年)  
 2008年 岐阜聖徳学園大学教育学部(～現在)  
 ※大学教員として、教員を目指す学生の指導にあたるほか、日本体育協会の「アクティブ・チャイルド・プログラム」に制作メンバーとして関わり、指導講師として全国を巡回している。

〈著書〉  
 ・「だれでもできるタグラグビー」  
 ・「アクティブ・チャイルド・プログラム」ガイドブック  
 ・「第二版小学校の体育授業づくり入門」  
 ・「日常生活・災害 ストレスマネジメント教育—教師とカウンセラーのためのガイドブック」 他

### \*\*\* 講演前にインタビューさせていただきました! \*\*\*

#### ♡先生のこの講演にあたっての思いは?

幼児期の運動あそびは体力や運動能力の向上が目的ではなく、遊びを楽しむことです。楽しむ中で様々な力がつくのです。今の子ども達は自己決定することが苦手と言われています。昔からの遊びでいえば「鬼ごっこ」は「つかまえない!」と思考力が、「つかまえた!」と達成感が、鬼ごっこを通して考えたり味わえたりできる遊びで、自己決定する力も育ちます。又、数字の認知や空間認知など学ぶことがたくさんあるのです。

現在の保護者は、遊びの価値を低くみていてそれが社会全体の風潮になっているように思います。昔の遊びにはたくさんの学びがあり、その文化が戻らないかなと思っています。そのためには地域や家庭の協力を得ることが重要ですね。遊びの場をつくり保護者と一緒に遊びを楽しんでもらいたいですね。



#### ♡島根の印象は?

大好きですよ♡海も山もきれいで地域の方もとてもやさしい♡魚もおいしく、昨夜ののどぐろはサイコーでした!



#### ♡今、先生が夢中になっていること、はまっていることは?

本を読むことが大好きですね。移動車内でよく本を読みますよ。それとジョギングです。今朝もホテルから浜田城跡まで走りました。前回、時間がなくて上まで登れなかったんですが今回、登りましたよ!石垣がすてきでした。そこから見える海もとてもきれいでした♡ 一步を踏み出すことの大切さを感じました。

先生のお話にはなんだか懐かしいものを感じ、遊びがいかに大切か…。それができるのは私たち保育士なのではないかという思いが強くなりました。先生のジョギングに負けないように、私たちも子どもたちと一緒にいっぱい遊んでいっぱい学びたいと思います。佐藤先生、大変ありがとうございました。

#### ♡保護者にどのように伝えていたらよいでしょうか?

いろいろな本も出ているので紹介してあげるのもいいと思います。地道に啓発してあげることが大事ですね。

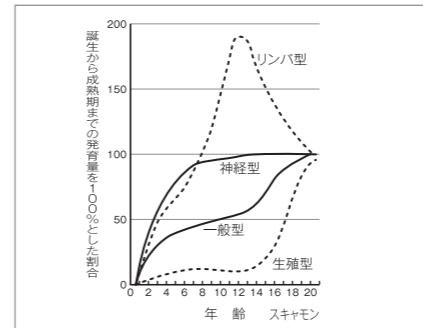


## 記念講演

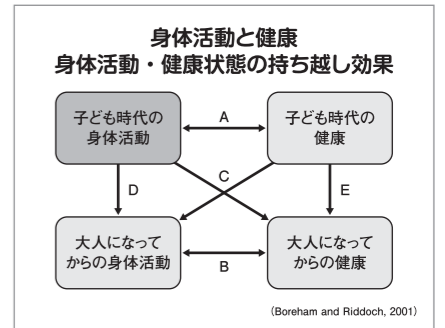
「幼児期の運動遊びで大切なことは、“体を動かすと楽しいね、気持ちいいね”と感じ、運動を楽しむことです。そして遊びの中には、たくさんの生きる為の学びがあります。」と幼児期の多様な動きをつくる運動遊びの重要性について佐藤先生にお話をいただきました。



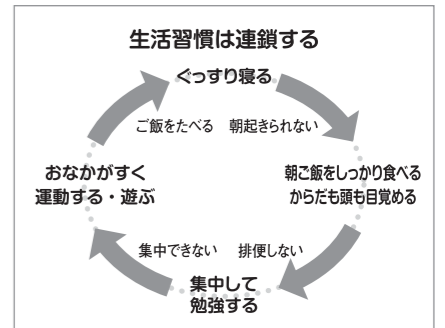
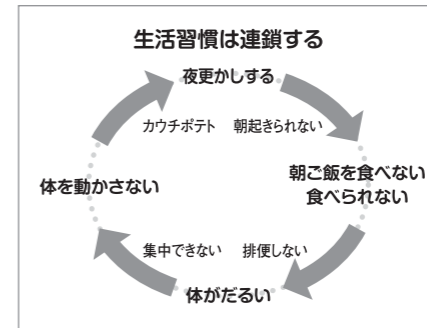
### ◆なぜ体力・身体活動が必要なのか



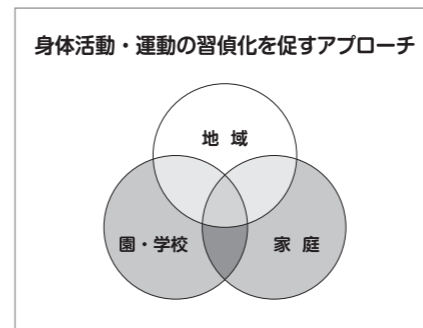
「スキヤモンの発育発達曲線」神経型は10歳までにほぼ完成します。この時期までに様々な動きを経験し、基礎的な動きを身につけることが大切です。



### ◆ライフスタイルの問題点



### ◆元気な子どもを育てるために

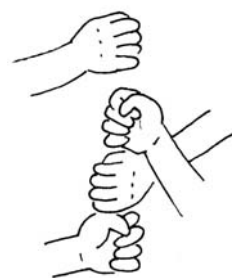


- どのような取組ができるのか?
- ・1日のどこかで60分の運動・身体活動時間を確保するかを明確にする
  - ・子どもの実態にあった遊びを提供する
  - ・可塑性のある遊びを提供する
  - ・運動遊び(伝承遊び)を教える(伝える)
  - ・遊具の設置、レイアウトを工夫する
  - ・保育「健康」へのアプローチを再検討する
  - ・課外の取組を見直す

元気いっぱい遊ぶ子どもを育てるために「できることは何か。」保育士一人ひとりの振り返りの時間となりました。体を動かすと楽しいと感じ、運動を楽しむことによって、「おいしくご飯を食べ、ぐっすり眠り、気持ちよく排便する」という生活習慣が連鎖し、子どもの健康が高まっていくのです。そしてそれが、大人になってからの健康に繋がっていくことを、家庭、地域と連携して大人が意識を高めて取り組まなければいけないと強く感じました。

# 佐藤 善人先生の レッツ! 手遊び!

会場で、楽しい手遊びを紹介してくださいました。  
ぜひ子ども達と、また、保護者同士の交流会で  
一緒に楽しんでください。

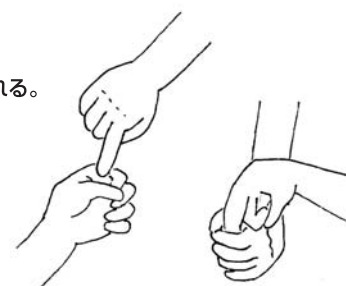


## ① ハイ! イハ! ドン! (2~4人)

- ・グーの手で交代に重ねていく。
- ・「ハイ」と言えば下から上へ、「イハ」と言えば上から下へ、「ドン」と言えば下の方が上から叩く。他の人は叩かれないように手をひく。

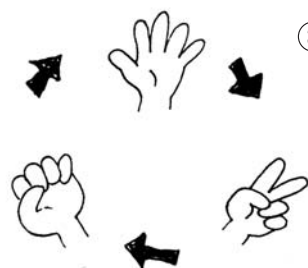
## ② キャッチ! (2人~ 2人以上の時は円になる)

- ・お互いに、軽く握ったこぶし(左手)の中に人差し指(右手)を入れる。
- ・「キャッチ!」と言われたら人差し指をぎゅっと握る。と同時に自分の人差し指は、握られないように抜く。
- ※「握ったこぶし」と「人差し指」の代わりに「手のひら(お皿)」と「グーの手(おにぎり)」にしても、おもしろい。



## ③ 後出しジャンケン!

- ・一人リーダーを決め、「後出しジャンケン、ジャンケンポイ!」と言って「グー」か「チョキ」か「パー」を出す。
- ・相手は「ジャンケンポイ!」の後に、「ポイ!」と言いながらジャンケンに勝つものを出す。(スピーディーに)
- ・慣れたら、後出しの人は、負けるものを出す。



遊びの中で子どもは育つ!

平成26年度

## 「保育者のつどい」アンケート結果

### 「保育者のつどい」についての感想・ご意見

- 佐藤 善人氏の講演について  
【内容】実際に使えるので良かった。・運動の大切さを感じた。  
【時間】時間的には適当な時間だった。  
もう少し聞きたかったという意見も多かった。(20名程度)
- 全体に関して  
【開催時期・日程】土曜日は出席しやすい。  
午前中にすめば、私用に使えた。  
もう少し実技があれば良かった。
- 【会場】・遠い ・机があるといい。 ・出雲部でしてほしい。

### 今後の「保育者のつどい」についての希望

- 講演の内容(こんなテーマの講演を聞いてみたい)  
・気になる子への対応 ・保護者支援・苦情処理  
・音楽リズムに関する講演 ・子ども子育て支援制度について  
・運動遊び(実技) ・食事の大切さ ・虐待児へのサポート
- 講師の希望  
・けろぼんず ・肥後先生 ・藤森平司先生 ・辻のぶゆきさんの母親  
・芸術家 ・経営者のトップ
- その他  
・道案内があり助かった。

## 平成26年度人材育成プロジェクト活動

今年度の人材育成プロジェクトの活動を紹介させていただきます。今年度の主な活動は「島根県保育研究大会における分科会の開催」「人材育成ミーティング(仮)の開催」の2つです。

まず県大会の分科会について。ここではリーダー的役割を担っている方を対象とし、リーダーの悩みやリーダーのあり方について参加者のみなさんと考えていきます。タイトルは「リーダーと呼ばないで!」とつけましたが、文字通りリーダーと呼ばれることをしんどく感じている方、またリーダーの仕事に自信を持っていないかたり不安を感じている方には是非参加してもらいたいと思っています。こうした悩みは、私も含め多くのリーダーが抱えているものです。リーダーは悩みを抱えていて当たり前、という前提で行っていく分科会なので、どなたも安心してご参加ください。

次に人材育成ミーティング(仮)。これはまず名称から内容が想像しにくいとの声が多数あり、今回から名称を変更することになりました。開催要綱が配られるときには魅力を感じてもらえる名称に変わっていると思います。この会では「人間関係」「チームワーク」をテーマとして、保育に関わる全ての方を対象とします。保育者の悩みの上位にいつも登場してくる「人間関係」「チームワーク」ですが、これは保育を考える上でもとても大事な要素でもあります。子どもたちは子ども集団の中で、そして保育者を含む周りのたくさんの大人の中で、人の多様さを学んでいきます。その保育の場を支える保育者が「人間関係」「チームワーク」の悩みとどう向き合っていくかは非常に重要な課題です。少しでも多くの方に参加していただき、悩みを共有し、どう向き合っていくかを共に考えたいと思います。

県大会の分科会と人材育成ミーティング(仮)をよろしくお願いします。



人材育成プロジェクトリーダー

相山 慈(江津市 あさり保育園園長)



保育士のつづやき

4歳男児

牛を見に行こうと牛舎に向かう途中、トンカントンカンと工事をしているおじさんに会いました。子どもたち「おはよう」 Sくん 「いいしごとしてるねー！」 おじさん 「あっ、うん。ありがとう…」 きっとおじさんはその後ガンガンお仕事をされたことでしょう

連絡帳より

2歳児

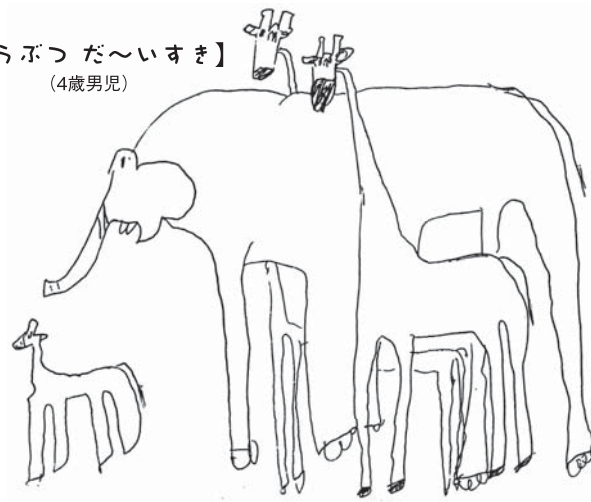
夕方、畑に行きスナップエンドウと一緒に採っていると、風にゆれる豆を見て「お豆がブランコしてる〜」とうれしそうその発想に「すご〜い!! K天才!」と言うと「ちがうでしょ! Kちゃん2才でしょ!」とおこられ、母畑で大爆笑でした。

保育士のつづやき

1歳男児

排泄後「きれいにしようね」と新聞を広げると、そこには大きな仏様の写真。それをじーっと見つめる2歳のSくん。「のんのんさん(仏さん)」と伝え、「のんのんちゃん!」と大喜び。それから、排泄時に新聞を広げるたびに「のんのんちゃん?」「のんのんちゃんバイバイ?」と繰り返すSくん。ずっと覚えているのだな〜と心がほんわか暖まりました。

【どうぶつ だ〜いすき】 (4歳男児)



こどもと保育者の会話

4歳男児

テラスの水道でうがいをしていたHくんのつづやき Hくん 「ねえちょっときて〜」 保育士 「どうした?」 Hくん 「みてみて、くもみて」 Hくんと保育士は2人でアングリと空を見上げました。 Hくん 「いろいろどりでしょう」 保育士 「そうだね。いろいろな形をしているね。どうしていろいろりになるかねえ。」 Hくん 「くもがしわけけるけん。だてくもがいつもしてるもん」 Hくんの「いろいろどり」に「くもがしわけ」するつづやきに子どもの発想の豊かさを改めて感じました。



【だんごむしをみつけたよ】 (3歳女児)

連絡帳より

4歳女児

卵の話をしていて「もうすぐ順番かな? 持ってきたら卵焼きにしてあげるね」と言ったら真剣な顔で「ダメだよ!! 卵はあたためて、そしたらヒヨコが生まれるけん!!」と言っていました(笑)。

※保育園の鶏が卵を産んだら順番に持ち帰る時の親子の会話です。

子どものつづやき

2歳男児

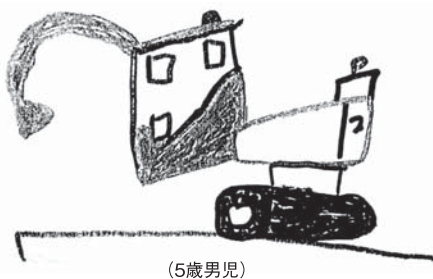
クラスで飼っているメダカにエサをあげているときにMちゃんが一言。「うわあ、メダカさんがうれしんどるね!!!」

【あかちゃんがおなかのなかでねころがってるよ】



子どものつづやき

シャベルカーの絵本を、じ〜っと見ていた3歳児がおかあさんに「シャベルカーって、正座しているの?」.....う〜ん、か・わ・い・い!!



(5歳男児)

保育士のつづやき

担任が妊娠したことを子どもたちに話したときのこと不思議そうに「じーっと」お腹を見つめて話を聞く子どもたち。するとC児が「先生のベビーちゃん、今どのぐらい? 今何してるの? Cちゃんだよ!!」と優しい声でお腹に語りかけてくれました。とっても微笑ましく思いました。

子どものつづやき

2歳男児

キノコが苦手な W くん。「きゅうしょくせんせい、きのこだけは、かんべんしてください。」「できれば、ちよっぴりで・・・。」

# HOT

みんなの声を聞いて! 聞いて!

ホッと



「トマトがあかくなったよ。とってもいいかな〜」(泥んこ遊びの時に、せっせと泥水をあげていたHちゃんでした)



年長さんが育てたきゅうりを見に行きたよ。ステキな出来栄えに思わず手をのぼしちゃった。

子どものつづやき

2歳児

こいのぼりの歌をうたったときのこと。「Hちゃん、もう一つこいのぼりのおうたしてるよー。はなくさ、はなくさ、こいのぼりー!」

連絡帳より

1歳男児

8月30日の土曜日、花火を見に行きました。湖岸の人混みのうしろの方で見ましたが嫁が島のうしろから上がる大量の花火に「すごいネ〜」「花火だねー」としきりに感想をのべながら興味しんしんで見ていました。すごく大きな花火をみて一言。「あれ、あぶないが〜」と言うのには笑ってしまいました。



【へび、ニョロニョロ〜】 (1歳男児)

連絡帳より

5歳児

車で赤信号で止まっていると…娘がいきなり娘「さっき、はっぱがいけんことしとったよ〜。」母「何のいけんことしとったん?」娘「信号が赤だったのに渡って行ったんよ〜。いけんがあ。」赤信号! 渡ったらいけないことちゃんとわかってるんですね

連絡帳より

絵本を見て 1歳児

「はらぺこあおむし」の絵本が大好きで、あおむしが、お腹のいたくなる場面になると「え〜ん」「え〜ん」と泣いています。



(5歳女児)

保育士のつづやき

トイレから出ようとした保育士が、思わず聞き入ってしまった年長児の会話

Yくん 「ねえねえ Aちゃんて、誰と結婚するん?」 Aちゃん 「わたし? Kくん! Yくんは?」 Yくん 「おれねえ、Rちゃん!」 Aちゃん 「ふーん。Rちゃんは「いいよ」って言った?」 Yくん 「…う〜ん。」 会話が途切れそうで、トイレを出るタイミングを失ってしまいました。 おまけ Sちゃん 「Y君、大きくなったら結婚しようね!」 Yくん 「もうちょっと、大人になってからきめようや…」